

きむらきみのぶ

## 木村公宣

1970年10月24日 青森県弘前市生まれ

東奥義塾高等学校卒業、近畿大学に入学、卒業後はロシニョールジャパン株式会社（現 三井物産ロシニョール株式会社）に入社。2003年3月末 退社。2003-2004シーズンより富良野プリンスホテルスキースクール（現 富良野 木村公宣スキースクール） 代表に就任。

引退後より、Jスポーツでのアルペンワールドカップ、NHKでのアルペンスキー世界選手権、オリンピック（アルペンスキー）の解説を担当。

3歳よりスキーを始め、小学校時代は野球部と陸上部にも籍を置き幅広くスポーツに携わる。中学校3年時の全国中学スキー選手権大会にて、大回転で優勝。

その翌シーズンより全日本ナショナルチーム入りを果たし、17シーズンに渡り、ナショナルチームとして活動する。

高校3年時のインターハイで、回転、大回転ともに優勝。

1989年 ワールドカップ富良野、志賀高原大会で、日本で開催されるワールドカップに初出場。この年に先輩方が引退したこともあり、世界で戦うことを自分の目標とする。

1993年 雫石世界選手権大会 コンビで8位に入り、木村の名前を世界に広げるきっかけとする。

1993-1994シーズンより、ワールドカップ回転にフル出場し、カナダ ストーンハム大会 20位を皮切りに成績を残す。1997年 志賀高原でのプレオリンピックでは4位に入り、1998年 スイス ヴェイソナ大会にて日本人3人目の表彰台に立つ。長野オリンピック終了後、納得のいく滑りができなかったこともあり、現役続行を決めた矢先の全日本選手権大会にて、右前腕骨折、右膝外側靭帯断裂、後十字靭帯損傷という大怪我を負う。アメリカで手術後ヨーロッパに渡りリハビリを行い、怪我から3シーズン目の2000年12月 ワールドカップ イタリア セストリエール大会にて4位に入る。2002年 ソルトレイクオリンピックでは、アルペン界 史上初の4大会連続出場を果たし、2003年 冬季アジア大会 青森で回転 優勝。2003年 3月 思い出の志賀高原 焼額山でのワールドカップで17年の選手生活に終止符を打つ。スクール代表に就任後、指導員の資格を取得。富良野でのスキースクールを軸とし、独学でテレマークを勉強するなど、1人でも多く方にスキーの楽しさを伝えていきたい！という思いを持ちながらジャンルにこだわらないスキーの普及活動、後進の指導を精力的にこなしている。